

問 1

【出題意図】

文章が意味する内容を理解し、表現する力をみる。（事象の理解力・文章表現力）

【解答例】

孤食を防ぎ、さまざまな人たちの多様な価値観に触れながら「だんらん」を提供すること。（41 字）

【採点基準】

- ・ 指定字数以内であり、かつ 8 割以上の字数をもって解答していること。
- ・ 誤字・脱字がないこと。
- ・ 「孤食を防ぎ」「さまざまな人たち」「多様な価値観」「だんらん」の言葉を用いていること。
- ・ 文章にまとまりがあること。

問 2

【出題意図】

問 1 で解答した内容をふまえ、文章の意図に沿った自分の考えを論理的に表現する力を問う。

（理解力・論理的思考力・文章表現力）

【解答例】

現代社会はインターネットや SNS での他者との交流の機会が増えている。私は学校で友人達とおしゃべりをするが、家に帰ってからラインでもつながり、違う高校に進学した中学の同級生の近況をインスタグラムで知ることも多い。このような交流は、留まる場ではない。お風呂に入りながらなど、何かしながらの相手の顔の見えない交流である。

私は留まる場として、地域ごとに自由学校を作りたい。学校に入学する前の幼児が来てもいいし、高齢者が来てもいい。食事をみんなでつくって、みんなで食べる。高齢者に昔の遊びを教わる子どもがいて、中学生にスマホの使い方を教わる高齢者がいる学校だ。誰かが授業をして学問を学ぶのではなく、生活や社会を学ぶ場としての学校である。私は一人っ子で祖父母と離れて暮らしているので、こんな学校があったらもっと多世代の交流が日常的に行えるようになると思う。この自由学校は、子どもの世話や高齢者の手伝いなどを通して地域の人々と触れ合う場になり、最終的には自由学校が留まる場になるのではなく、地域全体がそこで暮らすみんなの留まる場になることができるのではないだろうか。高齢世帯や共働き世帯が増加しているということは、家に閉じこもりがちになったり、ほとんど家で過ごすことのない人が増えているということである。そんな今だからこそお互いの顔の見える場を地域全体で作る取り組みが必要であると考えます。（591 字）

【採点基準】

- ・ 指定字数以内であり、かつ 8 割以上の字数をもって解答していること。
- ・ 誤字・脱字がないこと。
- ・ 「現代社会の特徴」「自分の考える留まる場」「なぜ、それが留まる場として機能するか」の 3 点で構成されていること。
- ・ 問題文の内容と関連していること。
- ・ 論理的に展開していること。
- ・ 論旨に一貫性があること。